

## 令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	阪南市	代表者名	水野 謙二		
担当者部署	行財政構造改革推進室	連絡先電話番号	072-489-4504		
担当者役職	主事	担当者氏名	岡本 栞	連絡先E-mail	*****
住所	599-0292 大阪府阪南市尾崎町35番地の1				

#### 1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

### 2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	筒井 大介
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	座学だけではなく、グループワークも含まれた内容であったため、職員の理解がより深まる研修であった。また、同じ自治体職員の見解で、講師自身のBPR事例を話してくださったり、業務フローを書くグループワークを組み込んでいただいたことで、職員が実務でのBPRを考える良いきっかけになったと感じるため。
アドバイザーへの要望事項	次回は、今年度実施予定の業務の棚卸しの結果をもとに、効果的なBPRに向けてのご支援をいただきたい。

### 3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和5年6月28日	講演(実地)	有	令和5年5月23日	661
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和5年6月30日	講演（実地）	14時00分	17時00分	15
				活動時間（分）	165
3-2. 派遣場所	会場名	阪南市役所	最寄駅	南海本線 尾崎駅	
	所在地	大阪府阪南市尾崎町35番地の1	最寄駅からの交通手段	徒歩（5分程度）	

### 4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可	<a href="https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/">https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/</a>
------	--------------------------------------	---

### 5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	職員（事務局含む）	38人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	全庁的に「DX」という言葉や概念が浸透しつつある一方で、いまだに職員間でDX・ICTに対する関心や知識にばらつきが見られるのも事実である。管理職や高齢職員の中には、業務のDX化やICTを活用したBPRに後ろ向きな考えを持つ職員がおり、肯定的な職員であっても、デジタル技術の活用の仕方に戸惑うことがあることから、職員1人ひとりにさらなるDX・ICTに対する意識改革や知識向上を促すとともに、ICTを活用したBPRの重要性を認識してもらうことが課題であると考え。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	研修を通して、職員にDXやICTを活用したBPRの重要性を理解してもらい、庁内DXの推進やICTを活用したBPRに主体的に取り組む職員を増やすことをめざす。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	職員へのDX推進やICTを活用したBPRの機運醸成を目的とした研修。	
支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい）	研修を通して、職員のDXやBPRへの理解を深めることができたとともに、庁内DX推進や今年度実施する業務の棚卸しに向けての機運醸成を図ることができた。	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的に記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 庁内DX推進やBPRに向けての職員の機運醸成を図ることを目的とした研修だったため、アンケートの内容は、機運醸成の効果を測定するような設問にした。集計中のため、アンケートの分析はできていないが、比較的前向きな回答が多かったため、機運醸成を図ることができたと考えます。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	⑤その他
事業の最終的な目指す姿	庁内のDX推進や、ICTを活用したBPRに主体的に取り組む職員が増加することで、行政運営の効率化と市民サービスの向上を図ることを最終目標としている。	

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

#### 6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

